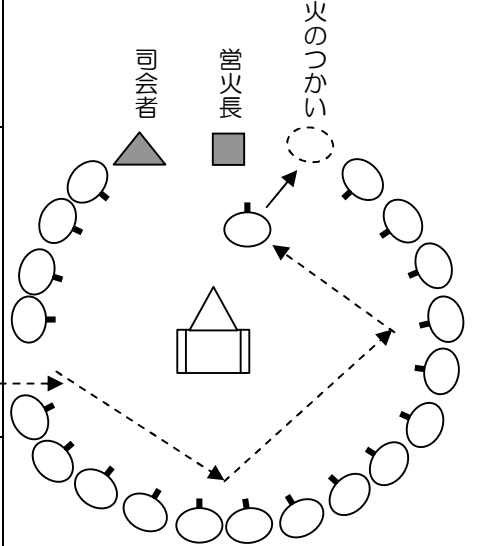


キャンプファイヤー展開例

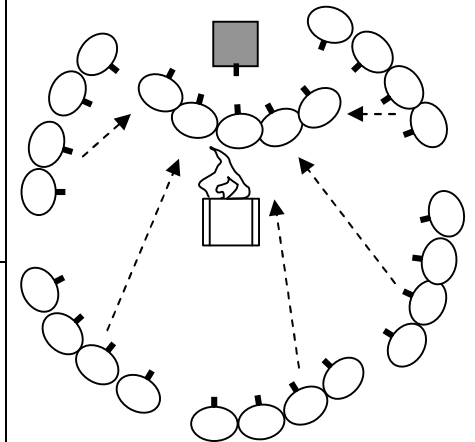
- ◎ 大自然の中で、闇と炎が醸し出す情景は神秘的であり、火を囲みながら厳粛なセレモニーと楽しい交歓を通して、自己を見つめ未来への希望を抱き、お互いの友情を深め、ともに喜び味わう感動的なつどいである。

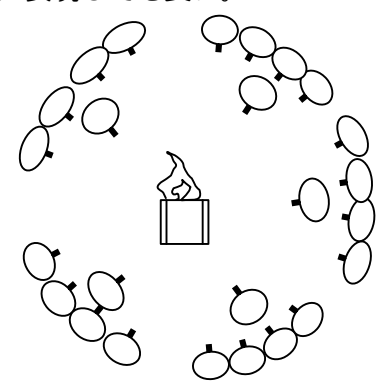
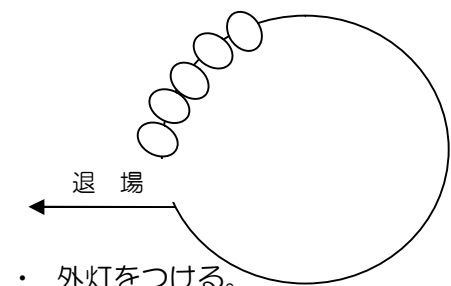
全体説明 会場準備 リハーサル	第1部	第2部	第3部	あと 始末	翌朝 あと 始末
<p>60分</p> <p>全体説明</p> <ol style="list-style-type: none"> 展開のしかた うたの練習 入場隊形(円隊形) 役割決め <ul style="list-style-type: none"> 司会者(1~2名)…引率者 営火長(1名)…引率者 火のつかい…仙人(引率者)又は火の神(男子児童・生徒)又は女神(女子児童・生徒) 誓いのことば係(各グループ1名)…児童・生徒 <p>※ 全体説明は事前に学校で説明してあれば当日は省略してもよい。</p> <p>※ 各グループとは、出し物をするグループのこと。</p> <p>※ 元火を持って入場する人は、仙人か火の神又は女神のいずれか1人を決める。</p> <p>※ 司会者は1・3部を引率者、2部を児童・生徒が行ってもよい。</p>	<p>15分</p> <p>第1部 火を迎える儀式</p> <ol style="list-style-type: none"> 全員入場 うた「遠き山に日は落ちて」燃えているトーチを持って仙人又は火の神(女神)が入場。 営火長のことば 火床に点火 うた「燃えろよ燃えろ」 <p>※ 仙人又は火の神(女神)は派手にならない程度に扮装するとよい。</p> <p>※ 第1部はあまり手間取らないように留意すること。</p> <p>※ 点火方法によっては、仙人又は火の神(女神)の出番及び仕方が違ってくる。</p>	<p>60分</p> <p>第2部 交歓のつどい</p> <ol style="list-style-type: none"> みんなで楽しくゲーム(10分) 各グループの出し物(40分) みんなで楽しくダンス(10分) <p>※ 最初のゲームは、第1部の緊張感をほぐし楽しい雰囲気を作るために行う。</p> <p>※ 出し物班は5~7グループにまとめた方がよい。出し物の時間は各5分以内。なお、多人数のため8グループ以上になるときは、各2~3分以内とする。</p> <p>※ 最後はまたみんなで愉快的なダンスをすればまとまりやすく、第3部への移行がスムーズにできる。</p>	<p>20分</p> <p>第3部 火を送る儀式</p> <ol style="list-style-type: none"> うた「ふるさと」又は「一日の終わり」 営火長の言葉 営火長はトーチで火床から点火して右手にかざしながら、火にまつわる話や人生訓話を述べる。 分火 各グループの誓いのことば係はトーチを持って営火長の前に集まり、火をつけてもらう。 誓いの言葉 うた「今日の日はさようなら」 全員退場 <p>※ 誓いの言葉を言うときは、自分たちのグループの前で火床に向かって言う。</p> <p>※ トーチを持った誓いの言葉係を先頭に各グループごとに退場する。</p> <p>※ 退場後、火床にたっぷり水をかけておく。翌朝始末する。</p>	<p>10分</p>	<p>15分</p>

第1 キャンプファイヤー場で行う場合

	展開	内容	備考
第1部	集合	<p>全員、つどいの広場に集合する。 営火長、火のつかい、放送係はキャンプファイヤー場でそれぞれ所定の位置につく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 外灯をつける。
	1. 全員入場 (司会者)	<p>司会者の合図で入場する。左回りに入場し、火床を囲んで円形に並び、内側を向く。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">雄大な自然に囲まれた、ここ夜須高原にある青少年自然の家にも夜のとばりがおきて参りました。ただいまから、_____団体、_____名によるキャンプファイヤーを行います。それでは、夜のうたを歌いながら、聖火を迎えることにいたしましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全員円形に並び終わって内側を向いたら、外灯を消す。
	2. うた 火のつかい 入場 (司会者) (司会者)	<p>全員斉唱「遠き山に日は落ちて」 ※BGM カセットテープ</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">火のつかいにより聖火を運んでいただきました。 それでは、火のつかいは営火長にトーチを渡してください。</p> <p>火のつかいは、営火長にトーチを渡した後、営火長の横に並び。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">営火長のことばをお願いします。</p>	 <p style="text-align: center;">火のつかい 入場</p>
	3. 営火長のことば (営火長)	<p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">今ここに、皆さんの友情と団結を図るために聖火を迎えました。この火は若者のシンボルであります。そして、情熱を表す火でもあります。火は人類とともに歴史を刻んで参りました。火は人々に安らぎを与え、希望を抱かせ、勇気を奮い立たせてきました。火は人類にとって最も神聖な物として崇拜されてきたのはこのためです。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">この火を囲んで、このキャンプファイヤーが青少年自然の家での活動のまとめにふさわしく、厳粛な中にも自分自身を見つめる機会となり、友情をあたため、そしてたゆむことなく前進する決意を固め、心の奥深くいつでも美しく、しかも楽しい思い出となるよう祈りたいと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 営火長はトーチを右手で高く掲げながら話す。
	4. 点火 (司会者)	<p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">それではこれから点火をしていただきます。 点火！</p> <p>薪が燃えだしたら、みんなで歌う。</p>	
5. うた (司会者)	<p>全員斉唱「燃えろよ燃えろ」 ※BGM カセットテープ</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">赤々と燃えさかるこのファイヤーを囲んで、さあ第2部、親睦のつどいに入りましょう。 営火長及び火のつかいは自分の席へ戻る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 外灯をつける。 	

第2部	1. うた・ゲーム	雰囲気づくりのうたやゲームを取り入れる。	
	2. 出し物	各班（各クラス）の出し物 <ul style="list-style-type: none"> 出し物の班は、8班ぐらいにまとめた方が時間的にも良い。 一班の出し物の所要時間は、5分以内と決めておくのが良い。 出し物は、寸劇など、知恵を出し合い、工夫した物が良く、例えば研修活動や学校での出来事、昔話、新聞の話題、小説、物語などをヒントにして、自分たちに合った劇にアレンジするなどすれば、そんなに難しいものではないことをアドバイスしてあげると良い。 	
	3. ゲーム・ダンス	みんなで楽しいゲームやダンスをして第2部をまとめると効果的である。	
第3部	(司会者)	司会者は最初の隊形と同じく、全員円形に整列するよう指示する。 営火長及び営火係にトーチを渡しておく。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>楽しく歌ったり、踊ったりしているうちに、夜もだいぶふけて参りました。これから火を送る儀式に入ります。それではみんなで「一日の終わり」を歌いましょう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 全員円形に並び終わったら、外灯を消す。
	1. うた 採火 (司会者)	全員斉唱「一日の終わり」 ※BGM カセットテープ うたの終わり頃に、営火長はトーチで火床から採火し、元の位置へ戻る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>営火長のことばをお願いします。</p> </div>	
	2. 営火長のことば	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>チロチロと燃え残る火を見つめてください。このファイヤーの薪もかつては青々と枝葉を茂らせた1本の木だったのです。今、私たちのために燃えさかり、やがて灰となり、自然に帰ろうとしています。この火は、私たちを神秘的な遠い原始の世界に誘い込んでくれたようです。そしてまた、火の美しさ、厳しさ、たくましさ、優しさなど、多くのことを教えてくれたような気がします。この薪が私たちのために、光と熱を与えてくれたように、私たちも人のため、世の中のために光を掲げ、役立とうではありませんか。</p> <p>長い人生のほんの一コマに過ぎない、この青少年自然の家での一夜ではありますが、ここで生まれた友情の火をいつまでも大切に、お互いが助け合って生きていくことを願って、まとめのことばと致します。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 営火長はトーチを右手で高く掲げながら話す。
	3. 分火 (司会者) (司会者)	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>各班の営火係は、営火長の前に集まってください。</p> </div> <p>営火係はトーチを持って、営火長の前に横一列に並ぶ。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>営火長より、各班（各クラス）の代表に火を分火していただきます。 分火！</p> </div>	



	(司会者)	<p>まず、第1班の営火係は営火長の前に進み出て、トーチを差し出し、営火長のトーチから火を分火してもらおう。以下、各班とも順次、同様に行う。</p> <p>営火係全員、分火が終わったら、各班に戻り、班の前に立つ。</p> <p>それでは、各班を代表して、誓いのことばを述べていただきます。 誓いのことば！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 営火長は営火係に分火するとき、「あなたに入場の火を授けます。」など、一言ずつ言っても良い。
第3部	4. 誓いのことば	<p>誓いのことばの一例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 私たち（僕たち）は、この研修で得たものを明日からの生活に生かし、いつも最善を尽くしていくことを誓います。 ○ 私たち（僕たち）は、ここで学んだ友愛と奉仕の精神をこれからの実践活動に生かし、常に努力していくことを誓います。 ○ 私たち（僕たち）は、若者らしく誠実に力強く理想に向かって、前進していくことを誓います。 ○ 私たち（僕たち）は、このファイヤーの光のように、常に世の中を明るくしていくよう、心掛けることを誓います。 ○ 私たち（僕たち）は、この宿泊研修で育んだ中間との友情を、いつまでも保ち続けることを誓います。 <p>各班とも明日へ向かって力強い誓いのことばを述べてもらいました。それでは、最後にみんなで「今日の日はさよなら」を歌って終わることにいたしましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 営火係は1班から順次トーチを高く掲げて誓いのことばを述べる。 ・ この一例は、中・高生向きです。小学生の場合は、「僕たちは、友達と仲良くすることを誓います。」など、簡単に表現しても良い。
	(司会者)		
	5. うた	(司会者)	<p>全員斉唱「今日の日はさよなら」 ※BGM カセットテープ</p> <p>今夜は、お互いに協力しあって、すばらしいつどいを開くことができました。これでキャンプファイヤーを終わることに致します。おつかれさまでした。それでは各班とも、トーチを掲げた営火係を先頭に静かに退場いたしましょう。</p>
6. 全員退場	<p>解散 後始末</p> <p>※翌日の朝</p>	<p>1班から退場・・・各班とも営火係はトーチを掲げて先頭に立ち、退場する。</p> <p>つどいの広場に着いたら、トーチは水を汲んだバケツで消す。</p> <p>代表者の指示により、解散する。</p> <p>設営係はキャンプファイヤー場の後始末をする。</p> <p>火床は十分水をかけて完全に消しておく。</p> <p>灰及び燃えかすは翌日朝、焼却場へ運び、焼却炉の中に全部入れて始末する。</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外灯をつける。 ・ 灰や燃えかすの始末は、スコップ、一輪車、エビジョウケ等がありますので事務室に申し出てください。